

横須賀市自然・人文博物館

# 博物館 わくわく たんけん ブック

児童生徒編



<学習指導要領対応版>

令和2年(2020年)3月



## はじめに

### 児童・生徒のみなさんへ

横須賀市自然・人文博物館では、三浦半島の自然と人の歴史をわかりやすく展示しています。その中には、みなさんが学校の授業で学習したものもあり、それらが“本物の資料”として展示されています。そして、この「博物館わくわくたんけんブック（児童生徒用）」は、その一つ一つの展示物について、より深く学んでいただくために作成されました。この冊子を読んでいろいろなことを知るだけでなく、登場するキャラクターが投げかける疑問について調べたりすることによってさらに学びを深めてもらいたいと思います。ぜひ博物館に来て、多くのことを学んでください。

### 保護者の方々へ

横須賀市自然・人文博物館では、見学の際、一つ一つの展示についてより深く知っていただくために、令和元年7月に「博物館わくわくたんけんブック」を発行しました。そして、博物館のホームページに掲載し、館内では入口に貸出用の冊子を置いています。しかし、お子さんが読む場合には、活字が多く、表現も難しいということがあり、この度、児童生徒用を発行することになりました。漢字にはルビを振り、写真や地図も入れました。お子さんと一緒に来館される際には、お子さんがこの冊子を読みながら見学したり、難しいところについては保護者の方が解説をしたりするなどして、ぜひご活用いただけると幸いです。

### 学校の先生方へ

この冊子の作成にあたり、学校の授業で活用していただくことを念頭に置き、学習指導要領との関連を考慮して作成しました。別紙の表では、学校における学習内容と博物館における展示物の対応を示しています。事前授業では関連するページだけを印刷して使っていただいて学習に対する動機づけを図り、そこで疑問に思ったことについて実際に博物館で“事実として存在する本物の資料”に触れることによって学び、新たに疑問に思ったことをその後で自ら調べたりすることによって、主体的で深い学びにつながるとよいと考えました。これまで以上に博物館を活用した授業を構築していただけると幸いです。

## 「博物館わくわくたんけんブック」の使い方

この「博物館わくわくたんけんブック」は「目次」と「解説文」と「地図」の丸数字が同じになっています。「目次」から見学をしたい展示をさがして、「地図」で展示場所を確認してください。また、展示物には、丸数字の番号が表示されています。

博物館にはさまざまな分野の学芸員がいます。質問や相談などがある場合には自然館2階の事務室に声をかけてください。（学芸員は31ページで紹介しています。）

## 登場するキャラクターの紹介

令和元年度の博物館実習に参加した学生が令和元年7月に発行された「博物館わくわくたんけんブック」の改良に臨みました。その中で、キャラクターが登場した方が親しみやすくなるのではないかとアイデアから次の3つのキャラクターが誕生しました。本文の中では、案内役を務めたり、さまざまな疑問を投げかけたりしてくれます。ぜひそれぞれのキャラクターの言葉にも注目してみてください。



はま ゆうこ (ハマオモト)

そうごう  
総合キャラクター



あんこう ひかる せんせい [先生] (チョウチンアンコウ)

し ぜんかん  
自然館キャラクター



はにわ ふみ と はかせ  
埴 文人 [博士] (はにわ)

じんぶんかん  
人文館キャラクター

# 目 次

※ 小・中学校での学習に関連した展示物だけを選んでいるため、丸数字は連続していません。

## 1. 自然博物館 ..... 1

### 1-1 自然館 2階展示室

- ① ナウマンゾウ
- ② さわれる展示 ..... 2
- ④ 三浦半島をとりまく地形（地模型）
- ⑤ 三浦半島の活断層 ..... 3
- ⑥ 津久井化石床のはぎ取り標本
- ⑦ 深海から生まれた三浦半島 ..... 4
- ⑧ 岩石をさわってみよう ..... 5
- ⑨ 三浦枕状溶岩
- ◆ コラム①「ハマオモトヨトウ」 ..... 6
- ⑭ オオスズメバチの頭部大型模型
- ◆ コラム②「三浦半島のスズメバチ」 ..... 7

### 1-2 自然館 中3階展示室 ..... 8

- ⑮ 岩石壁面

### 1-3 自然館 1階展示室

- ⑳ 三浦半島の植物 ..... 9
- ㉕ 磯の生き物 ..... 10
- ㉖ 干潟・砂浜の生き物
- ㉗ 三浦半島の哺乳類 ..... 11

|              |    |
|--------------|----|
| ⑳三浦半島の魚類     |    |
| ㉑三浦半島の鳥類     | 12 |
| ㉒危険な生物       |    |
| ㉓三浦半島の両生・は虫類 | 13 |
| ㉔三浦半島の昆虫 1   |    |
| ㉕三浦半島の昆虫 2   | 14 |
| ㉖ホタル         | 15 |

## 2. 人文博物館 16

### 2-1 人文館 ロビー

#### ①三浦半島をつくる地層

### 2-2 人文館 1階展示室

|                              |    |
|------------------------------|----|
| ④三浦半島にヒトが住みついたころ             | 17 |
| ⑤先土器時代の三浦半島                  | 18 |
| ⑥さわってみよう：縄文時代の土器             |    |
| ⑦採集の時代 — 縄文時代のころ —           | 19 |
| ⑧採集の生活 — 採集生活の限界 —           | 20 |
| ⑨海的生活（ジオラマ）                  |    |
| ⑩農耕のはじまり — 弥生時代のころ —         | 21 |
| ⑪豪族の誕生 — 古墳時代のころ —           | 22 |
| ⑫弾琴男子椅座像埴輪                   | 23 |
| ◆コラム③「朝鮮半島から伝えられた？古墳時代の琴」    |    |
| ⑬さわってみよう：古墳時代の土器             | 24 |
| ⑮三浦一族と三浦半島 — 鎌倉～室町・戦国時代のころ — |    |
| ⑯衣笠城址のジオラマ                   | 25 |

## 2-3 人文館 2階展示室

|                              |    |
|------------------------------|----|
| ②⑩ようこそ近世・近代の世界へ ー海を切り拓いた人たちー | 26 |
| ②⑤さわれる展示：近代の瓦                |    |
| ②⑨古民家コーナー                    | 27 |
| ③②農具コーナー                     | 28 |
| ◆コラム④「西か？ 東か？三浦半島」           | 29 |
| ③⑧ペリー来航から始まった近代外交            | 30 |

## 3. 学芸員紹介 31



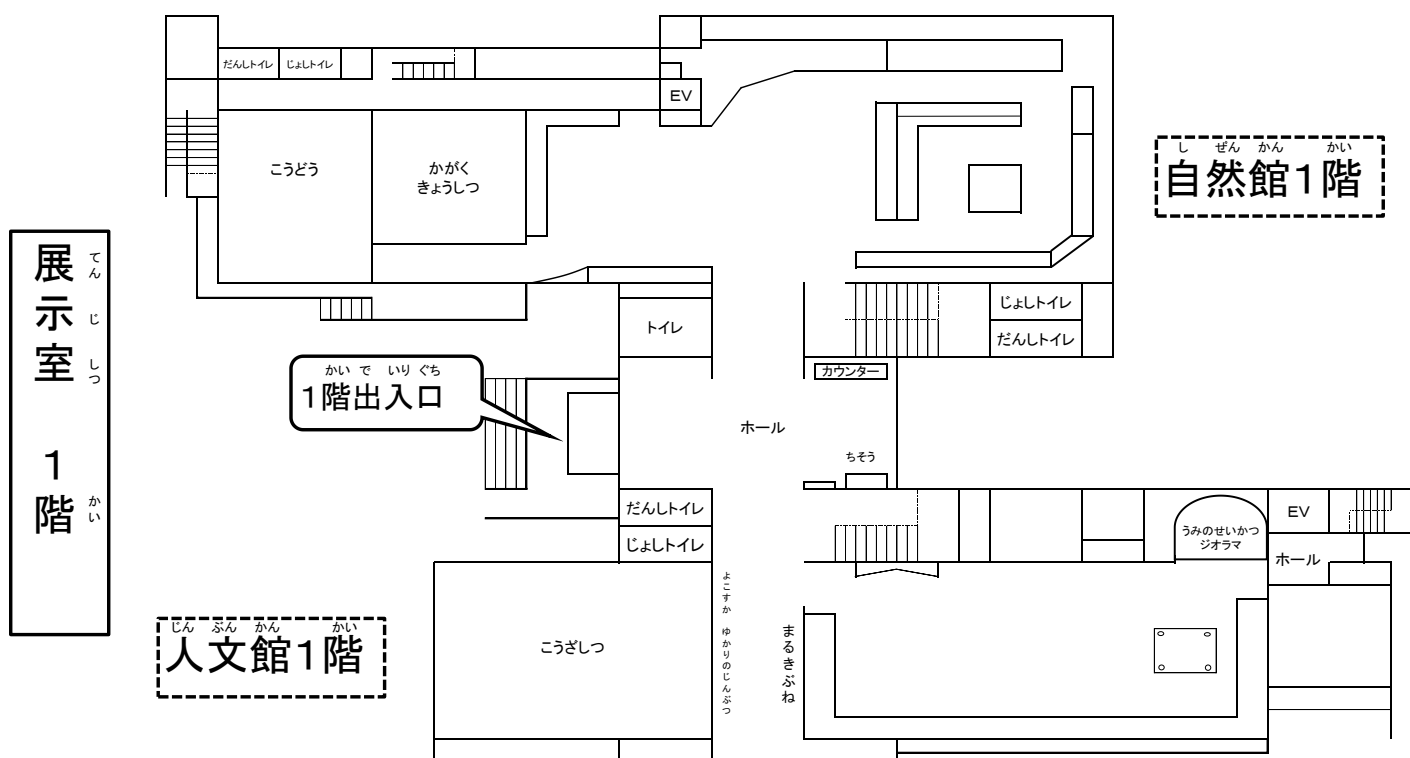
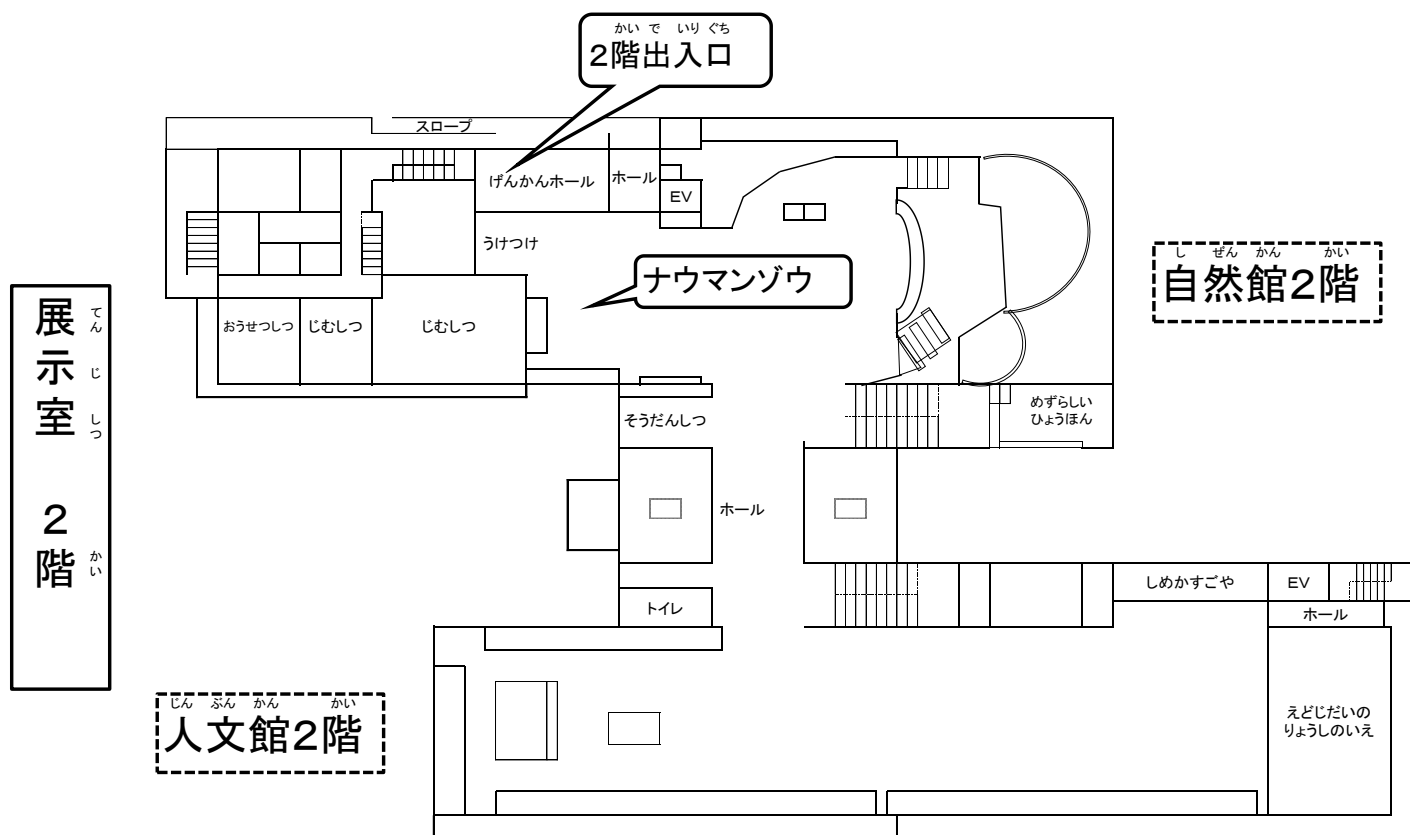
総合キャラクターの浜 優子です。  
博物館には、どのようなものがあるのかな～。  
楽しみね！

自然館キャラクターの  
安康 光です。  
海の生き物をはじめとして、  
自然のことなら何でも聞いてよ！



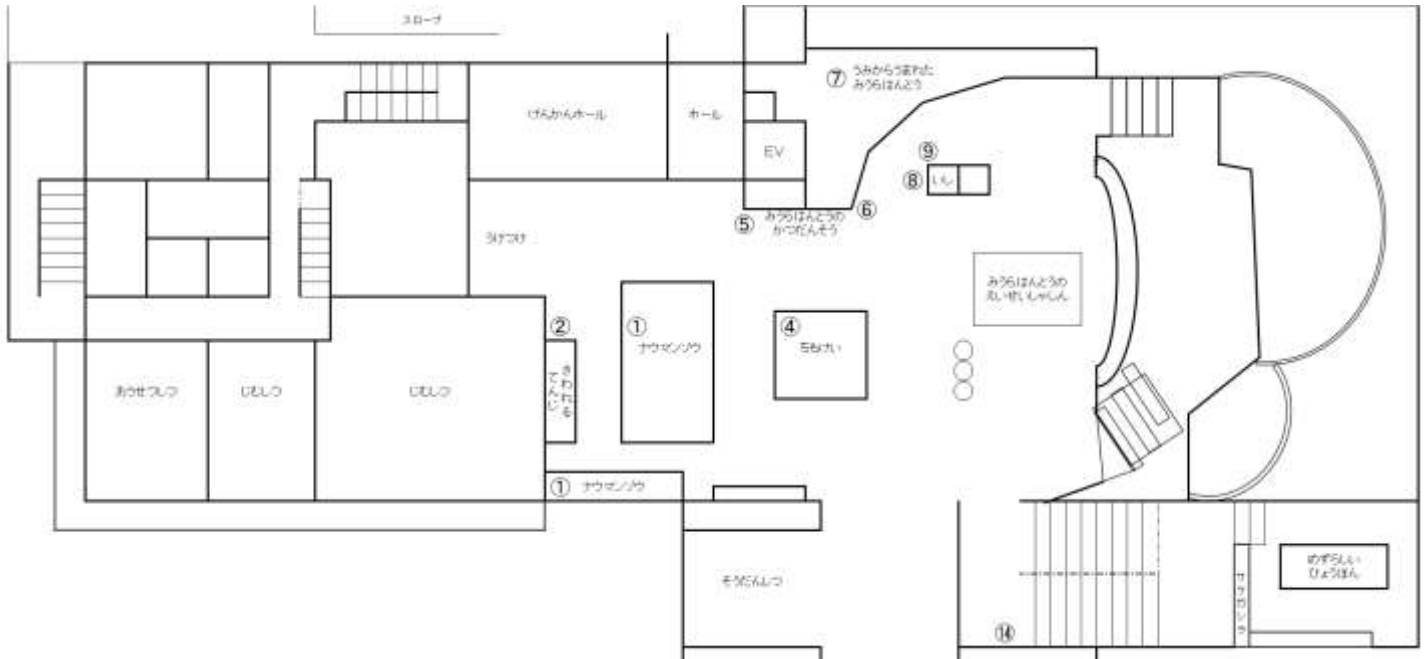
人文館キャラクターの埴 文人  
です。  
歴史のことなら任せなさい！

し ぜ ん      じ ん   ぶ ん   は く   ぶ つ   か ん   て ん   じ   し つ   あ ん   な い   ず  
自然・人文博物館展示室案内図



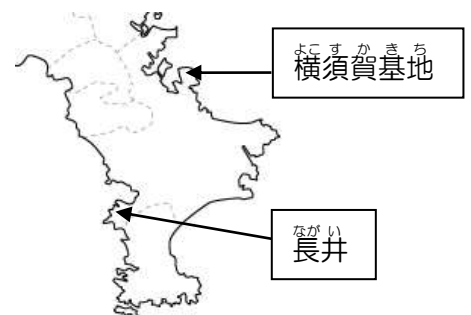
# 1. 自然博物館

## 1-1 自然館 2階展示室



### ①ナウマンゾウ (柴田学芸員)

- ナウマンゾウは、35万～2万年前に日本で生きていたゾウのなかまです。
- 横須賀市内では横須賀基地と長井から化石が見つかっています。
- 横須賀基地の化石は世界で初めて見つかった化石です。1867年、横須賀製鉄所建設中に下あご化石が見つかりました。
- 長井産の化石は1929年、1964年、1970年に発見されました。歯、肩や腕の骨が見つかりました。





1. 自然博物館  
1-1 自然館 2階展示室

②さわれる展示（自然系学芸員）



かいがん う せいぶつ からだ  
海岸に打ちあがる生物の体  
いちぶ しょうたい  
の一部の正体はなんだろう？



がんせき むし  
いろいろな岩石や、虫のはね  
もあるよ！

④三浦半島をとりまく地形（地模型）（柴田学芸員）

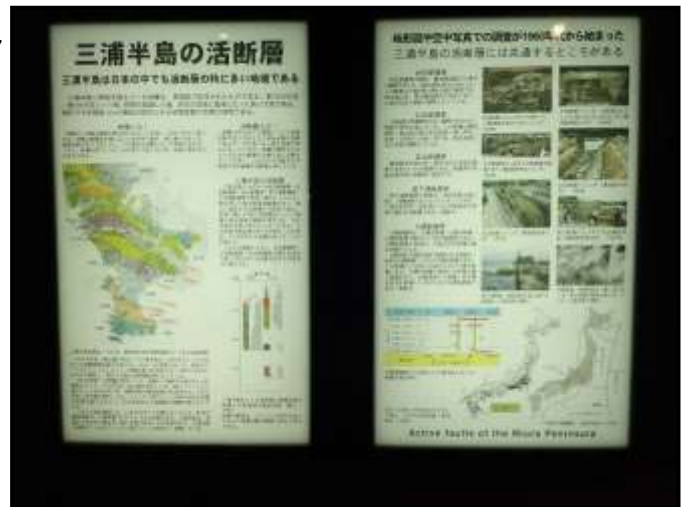
- 三浦半島 周 辺の地形を立体的に 表 して  
います。
- フィリピン海プレートと北米プレートの  
境 界が赤線で示されています。プレート  
境 界は相模湾や駿河湾を通っています。  
フィリピン海プレートは年間約4cm の  
速さで北米プレートの下に沈みこんでいます。
- 1923年の関東大震災も相模湾のプレート  
境 界を震源域として発生しました。



そもそもプレートって  
なんだろう？

⑤ 三浦半島の活断層 (柴田学芸員)

- 活断層とは、過去数十万年間に繰り返し活動して地震を起こし、今後も活動して地震を起こす可能性がある断層のことです。
- 三浦半島には5本の活断層があります。



三浦半島の5本の活断層について  
パネルから調べてみよう！



⑥ 津久井化石床のはぎ取り標本 (柴田学芸員)

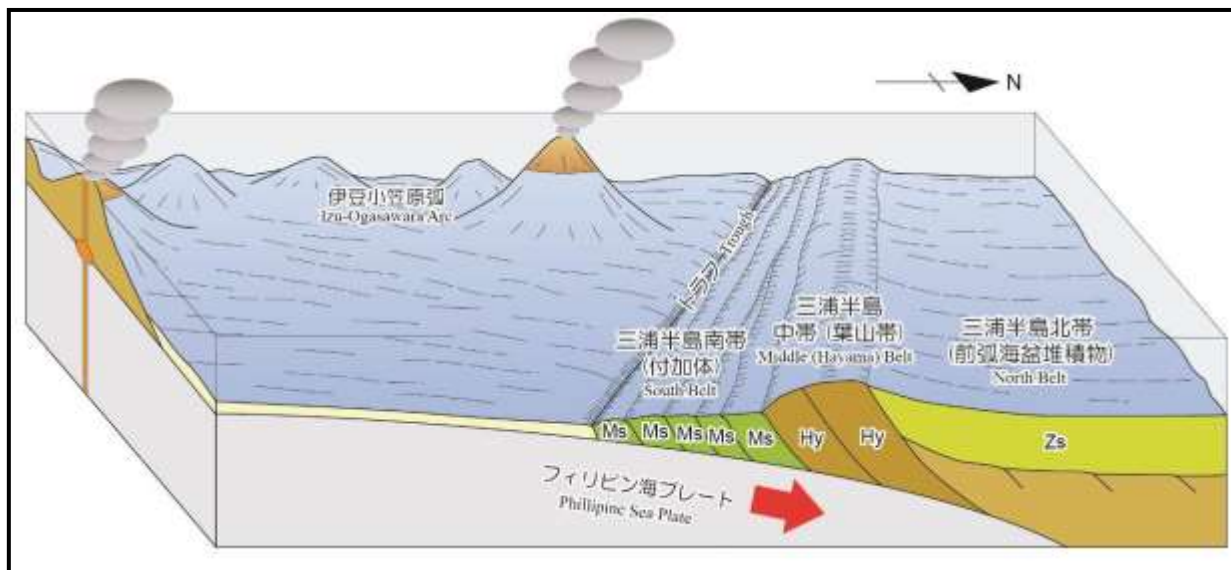
- 約30万年前に浅い海でできた地層のはぎ取り標本です。
- 津久井浜駅の北の崖で工事中に専用の接着剤を用いて地層を固め、はぎ取った標本を展示しています。
- 27種の貝化石のほか、フジツボやウニの化石を含んでいます。ほとんどが現生種ですが、トウキョウホタテのような絶滅種も見られます。



この地層からどのようなことがわかるかな？



⑦<sup>しんかい</sup>深海から<sup>う</sup>生まれた<sup>み</sup>三浦<sup>うらはんとう</sup>半島（<sup>しば た がくげいいん</sup>柴田学芸員）



- 三浦半島の地層や岩石の大部分は深い海の底でつくられました。そして、プレートの  
はたらきによって変形を受け、隆起したものです。これらの地層や岩石はすべて新生代に  
つくられました。地層には火山灰が多く含まれています。



- こうみいし いし ち そう いち ぶ  
 ・ 子産石とヘソ石は、地層の一部がセメントされ、固まったものです。ヘソ石は生物の巣穴の化石と考えられています。
- るい か せき み うらはんとうとくさん  
 ・ シロウリガイ類の化石は三浦半島特産の化石といえます。現在の相模湾の水深約1,000 m にも生息しています。



- ナウマンゾウの化石は、三浦半島が陸地となった約50万年前以降の地層からみついています。
- ヤベオオツノジカはナウマンゾウと同じ時代に生息していた巨大な角を持つシカのなかまです。横須賀市からは角や、かかとの化石がみついています。



⑧ 岩石をさわってみよう (柴田学芸員)



どれも火山が降り積もって  
できたみたいだね！



⑨ 三浦 枕 状 溶岩 (柴田学芸員)

- 5,000万年前につくられた、三浦半島で最も古い岩石です。
- 日本から離れた海底に噴出したマグマが固まったもので、プレートのはたらきで三浦半島まで移動してきました。
- 丸い形が枕のように見えることが名前の由来です。
- 黒い色をした火山岩である玄武岩の1種です。
- 横須賀市指定天然記念物で、横須賀市平作の万葉公園で見られます。



コラム①

「ハマオモトヨトウ」

海のジオラマにも展示されているハマオモトヨトウは、幼虫がハマオモト以外のヒガンバナ科植物も食べることが知られています。近年はハマオモトよりも分布を拡げているようです。かつては天神島が自然分布の北限であった可能性から、ハマオモトのように横須賀市の「虫」として注目されるべき存在でした。しかし、現在は、幼虫が白黒のまだら模様で成虫が地味な色の蛾であるせいでしょうか、あまり知られていません。一方、この幼虫が昼でも植物上で活動しているのは、若いうちは葉や茎、つぼみや若い実に潜って柔らかい組織を食べることや、有毒で知られるヒガンバナ類の成分を体内に取り込むことなどによって、鳥やハチ類などの天敵から身を守っているためと考えられます。



ハマオモトヨトウ幼虫



ハマオモトヨトウ成虫

⑭オオスズメバチの頭部大型模型（内船学芸員）

- ・オオスズメバチの女王の頭部をモデルにつくられた大型模型です。
- ・頭部大型模型のほか、はねを大きく拡大したシートも展示することで、記念撮影スポットとしています。
- ・頭部模型は実物の約100倍、はねのシートは大小それぞれ実物の約40倍・20倍です。

## コラム②

### 「三浦半島のスズメバチ」

三浦半島ではスズメバチのなかまが7種知られています。うち6種（オオスズメバチ、キイロスズメバチ、コガタスズメバチ、ヒメスズメバチ、モンスズメバチ、クロスズメバチ）は以前から知られていたもので、残り1種（チャイロスズメバチ）は2010年代に三浦半島にやってきたと考えられます。博物館では2010年から2018年まで9年間にわたり、横須賀市保健所と一緒に横須賀市内のスズメバチ類をトラップによって調査しました。その成果を展示にも取り入れ、オオスズメバチの頭部大型模型を制作しました。現在、この模型は自然館2階にて常設されています。



オオスズメバチ頭部模型&はねシート





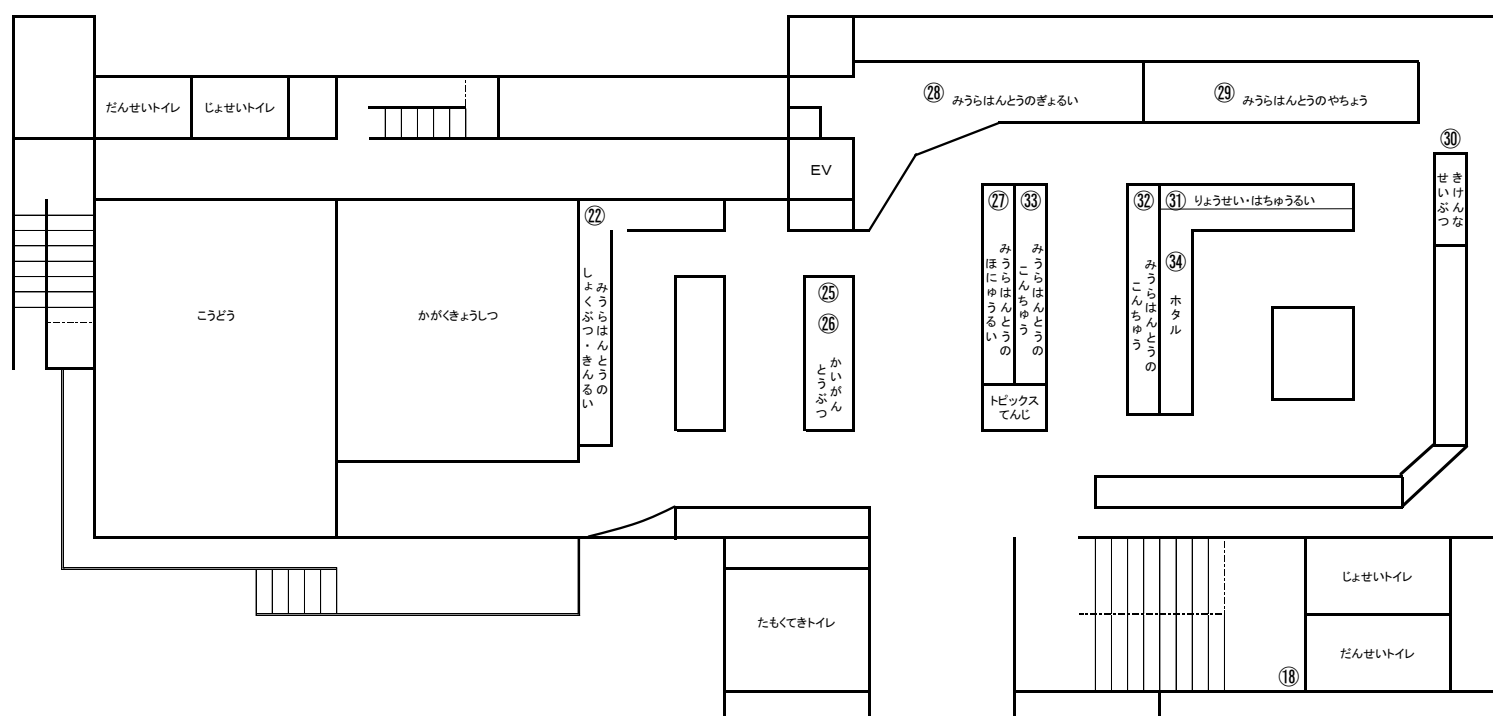
- 1-2 しぜんかん なか 自然館 中3 かいてんじしつ 階展示室

- 岩石には、土砂や火山灰などが降り積もってできた堆積岩、マグマが固まった火成岩、それらが熱や圧力で変質した変成岩があります。

それぞれの岩石を、<sup>がんせき</sup>堆積岩、<sup>たいせきがん</sup>火成岩、<sup>かせいがん</sup>変成岩<sup>へんせいがん</sup>に分けてみよう！



1-3 <sup>しぜんかん</sup>自然館 <sup>かいてんじしつ</sup>1階展示室



⑫三浦半島の植物（山本学芸員）

- 天神島臨海自然教育園では、さまざまな環境で次のような植物が見られます。

砂浜：ハマダイコン・ハマエンドウ・ハマヒルガオ

磯：スカシユリ・ハマカンゾウ

塩沼地：ハママツナ・ホソバノハマアカザ

- ハマオモト（ハマユウ）

- 横須賀市の花です。

- 天神島臨海自然教育園が北限となっています。

- 1953年（昭和28年）に神奈川県  
天然記念物に指定されました。



ハマオモト（ハマユウ）

- 馬堀自然教育園の植物

- シイ類やタブノキといった照葉樹林、アスカイノデなどのシダ植物、  
水辺の植物などが見られます。

- キノコ

- 三浦半島では約300種のキノコが確認されています。

- 三浦半島を代表する植物

- フウトウカズラ・ハマボウ・ワダンなどが代表的です。



三浦半島の植物について、  
もっと調べてみよう！



## 1. 自然博物館

### 1-3 自然館 1階展示室

#### ②5 磯の生き物（萩原学芸員）

- 磯には岩の表面や隙間、石の下など環境によってさまざまな生物が生息しています。
- 「タイドプール」とも呼ばれる「潮だまり」は、海水の水たまりで、とても多くの生物が観察できるポイントになっています。
- 海藻やフジツボ・カイメン動物などの付着動物は、乾燥に強いものが高い位置に、競合に強いものが低い位置に生息しています。
- ウミウシ類は後鰓類という、貝殻が退化した巻貝のグループに属しています。
- 天神島臨海自然教育園では、100種類以上のウミウシ類が見つかっています。

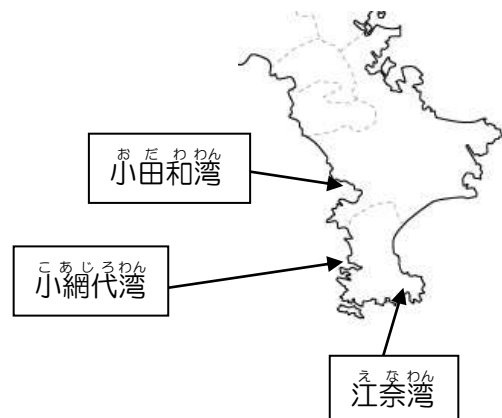


#### ②6 干潟・砂浜の生き物（萩原学芸員）

- 干潟は満潮時には海、干潮時には陸地となる遠浅の海岸に生じる特殊な環境です。
- かつて東京湾は干潟生物の宝庫でありましたが、現在はその90%が失われてしまっています。
- 三浦半島には三浦市の江奈湾・小網代湾、横須賀市の小田和湾などに、首都圏では貴重となった干潟環境が残されています。
- 干潟には、そこでしかみられない貝類・カニ類・ゴカイ類などが生息し、それらを餌にする渡り鳥の飛来地となっています。



コメツキガニ



②⑦三浦半島の哺乳類（萩原学芸員）

- 三浦半島には現在、シカやイノシシといった大型哺乳類は自然分布していません。
- 近年は、アライグマやタイワンリスといった外来種の哺乳類が増え、さまざまなことが問題となっています。
- 在来の哺乳類はどれも減少していて、アブラコウモリを除いたコウモリ類やニホンイタチは絶滅の危機にあります。
- 縄文時代の貝塚からは現在の三浦半島には存在しないニホンザル・ムササビ・アナグマ・カワウソなどの骨も見つかっています。



ホンドタヌキ

外来種の哺乳類が増えて、どのようなことが問題になっているのかな？



②⑧三浦半島の魚類（萩原学芸員）

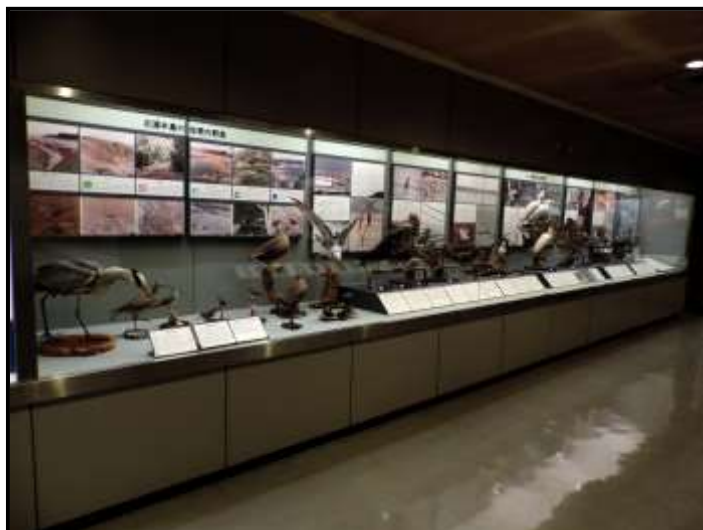
- 三浦半島の周辺の海は黒潮という暖流の影響を受けて、暖かな海の魚が豊富に見られます。
- カルカロドン（ホホジロザメ類）の歯の化石の展示標本のうちのひとつは大楠山山頂付近から見つかったもののレプリカです。
- ヨシノボリの仲間はハゼ科の魚で、三浦半島でもっともよく見られる淡水魚のひとつです。腹びれが吸盤になっていて、小型のダムなどをのぼることができます。
- シノノメサカタザメの剥製は三浦市で漁獲され、京急油壺マリンパークで飼育されていたものです。名前が「サメ」となっていますが、本当はエイのなかまで甲殻類や貝類を食べるおとなしい種です。



1. 自然博物館  
1-3 自然館 1階展示室

②⑨ <sup>み うらはんとう</sup> <sup>ちょうるい</sup> <sup>はぎわらがくげいいん</sup>  
三浦半島の鳥類（萩原学芸員）

- なじみ<sup>ふか</sup>深い<sup>み うらはんとう</sup>三浦半島の「カラス」  
には、市街地<sup>しがいち</sup>に多い<sup>おお</sup>ハシブトガラ  
スと農耕地<sup>のうこうち</sup>に多い<sup>おお</sup>ハシボソガラス  
の2種<sup>しゅ</sup>があり、くちばし<sup>かたち</sup>の形で  
くべつ  
区別<sup>くべつ</sup>できます。



③⑩ <sup>き げん</sup> <sup>せいぶつ</sup> <sup>はぎわらがくげいいん</sup>  
危険な生物（萩原学芸員）

- 野外活動<sup>や がいかつどう</sup>で遭遇<sup>そうぐう</sup>する可能性<sup>かのうせい</sup>のある危険な生物<sup>き げん</sup>を紹介<sup>しょうかい</sup>しています。
- 市内<sup>し ない</sup>で特に注<sup>とく</sup>意<sup>ちゅう い</sup>が必要<sup>ひつよう</sup>なもの（生命<sup>せいめい</sup>に関わ<sup>かか</sup>る被害<sup>ひがい</sup>があるもの）として、カツオノエボシ・スズメバチ<sup>るい</sup>類<sup>るい</sup>・マムシ・ヤマカガシなどがあげられます。

<sup>ゆうどく</sup> <sup>ゆうがい</sup> <sup>せいぶつ</sup> <sup>が そう</sup>  
有毒・有害な生物の画像を  
<sup>そう さ</sup> <sup>けんさく</sup>  
操作ボタンで検索してみよう！



ヒョウモンダコ



③① 三浦半島の両生・は虫類 (萩原学芸員)

- 三浦半島では、在来の両生類のすべてが絶滅に瀕しています。
- トウキョウダルマガエルは三浦半島から絶滅した可能性が高いです。
- 爬虫類も数が減っていますが、ニホンヤモリは安全な住宅建材が使われるようになったことで、近年では増加の傾向があります。
- 三浦半島には9種のヘビが分布しますが、毒ヘビは2種だけです。



③② 三浦半島の昆虫 1 (内船学芸員)

- 三浦半島にくらす昆虫  
約400種の標本を、主な  
生息環境 (山～人里～海岸)  
や主な季節に分けて展示して  
います。



刊行物「身近な昆虫 365」



興味がある昆虫について、  
くわしく調べてみよう！

③三浦半島の昆虫 2 (内船学会員)

- 三浦半島の昆虫から5種を取り上げ、詳しく解説します。
- マイマイカブリ  
幼虫・成虫ともにカタツムリを食べる大型のオサムシの仲間です。前ばねが左右で一緒になり、後ばねが退化しているため飛ばません。



- ベーツヒラタカミキリ  
夏にスタジイの大木などで見られたカミキリムシの仲間です。クマゼミのように分布域が拡大することなく、むしろ今ではほとんど見られなくなりました。
- クマゼミ  
南の方に分布の中心があり、三浦半島ではかつて最南端の城ヶ島にのみ生息していましたが、徐々に分布域が北上しています。
- カワトンボ  
三浦半島では河川の上流など水質が比較的良好な水辺に生息しています。中でも三浦半島産のものはアサヒナカワトンボと呼ばれています。はねの色には橙色型と無色型がありますが、メスは無色型のみです。
- モンキアゲハ

アゲハチョウの仲間ではナガサキアゲハとともに日本最大級です。はねが黒く、後ばねの黄色い紋は名前の由来（紋黄）になっています。

モンキアゲハの紋は、生きているときは黄色ではないらしいよ！





③④ホタル (うちふねがくげいいん)

- 世界のホタルと日本のホタルの代表的な標本を展示しています（赤い印をつけたものは三浦半島で見られるホタルの仲間です）。
- ホタルは世界で約2,000種、国内で40種が知られています。
- ゲンジボタルの卵・幼虫・さなぎ・成虫については、実物を展示しています。
- 三浦半島に生息する代表的なホタルはゲンジボタルとヘイケボタルの2種で、他にオバボタル、ムネクリイロボタル、クロマドボタル、カタモンミナミボタルが確認されています。
- ゲンジボタル、ヘイケボタル、ヒメボタルという日本の代表的なホタル3種に、エフルゲンス（パプアニューギニアに生息する「ホタルの木」で有名な種）を加えた4種の発光パターンを体験できます。



## 2. 人文博物館

### 2-1 人文館 ロビー

#### ①三浦半島をつくる地層（柴田学芸員）

- 京浜 急 行三崎口駅付近の地層です。
- 約8万年前より 新 しい地層のみが見られます。
- おもに陸 上 に降り積もった火山灰の地層である  
関東ローム層が見られます。
- 約6万年前の箱根火山の大噴火による火山灰が  
見られます。
- 約3万年前のあいらかルデラ（鹿児島県）の大  
噴火による火山灰も見られます。

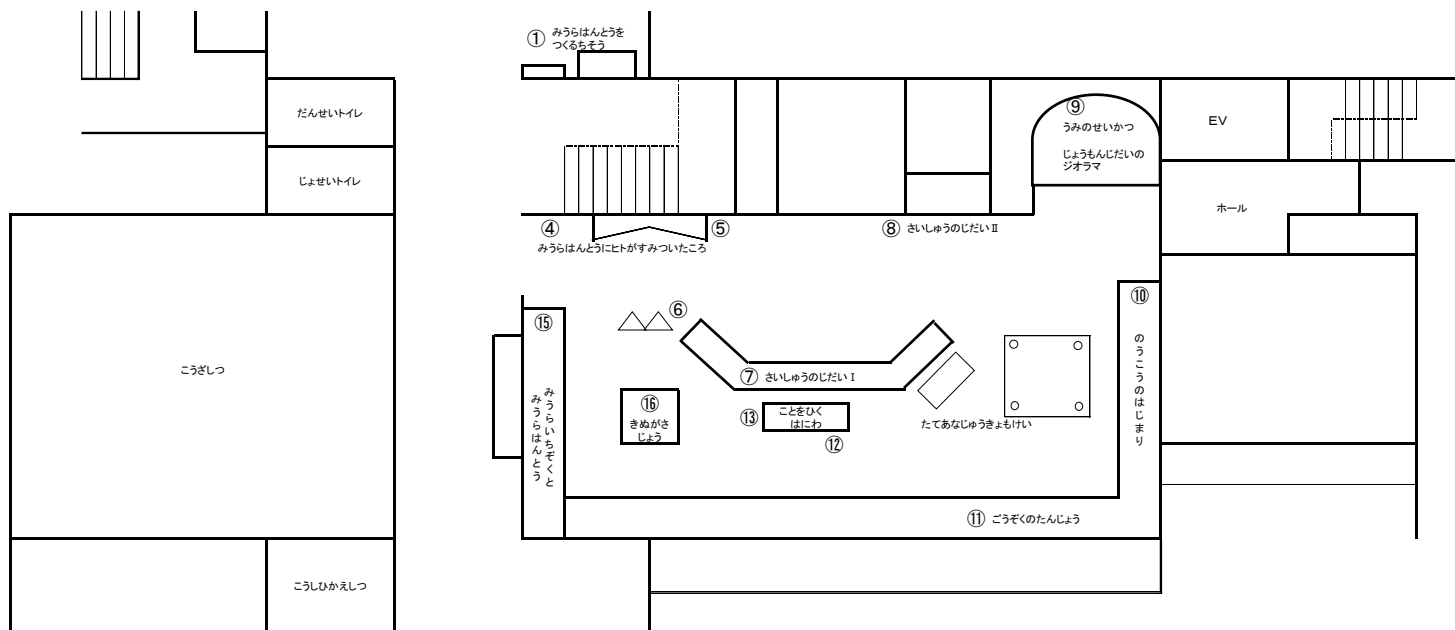


そもそも地層って、  
なんだろう？

難しい言葉がいろいろある  
けど、一つずつ調べてみよう！



2-2 <sup>じんぶんかん</sup> 人文館 1 <sup>かいてんじしつ</sup> 階展示室



④三浦半島にヒトが<sup>す</sup>住みついたころ



せん ど き じ だい きゅうせつ  
先土器時代は、旧石  
き じ だい よ  
器時代と呼ばれるこ  
とが<sup>おお</sup>多くなっている  
よ！



横須賀のはじまり、先土器時代の  
コーナーだよ！



- 三浦半島にはじめてヒトが住みついた約3万2千年前から、土器が出現する直前の約1万5～6千年前（この時期を後期旧石器時代と呼びます）までについて、地層や自然環境の変化などを含めたパネルで紹介しています。

### ⑤先土器時代の三浦半島

- 三浦半島内の先土器（旧石器）時代の遺跡分布図や、長井で出土した石器類も展示しています。
- 三浦半島内で出土した石器素材のなかで、黒曜石（ガラス質の火山噴出物）は箱根や伊豆半島ばかりでなく、遠く長野県や栃木県などからも運ばれてきています。
- 横須賀最古の石器は、長井（ソレイユの丘）にある打木原遺跡から発掘された約3万2千年前の長野県産黒曜石です。また、同じ遺跡からは約3万から3万1千年前の落し穴と思われる土坑群が列をなしてみつかっています。



### ⑥さわってみよう：縄文時代の土器



縄文時代早期の土器片

縄だけでなく、貝殻や竹べらなどで  
えが  
描かれたものもあるよ！





⑦採集の時代 — 縄文時代のころ — (10,000年前～5,000年前)

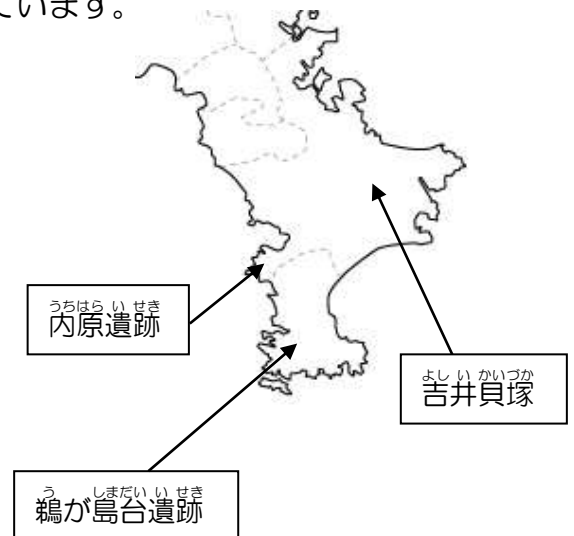


やく まんねんまえ じょうもん じ  
約1万年前の縄文時  
だいそう き やく せんねん  
代早期から、約5千年  
まえ じょうもん じ だいぜん き  
前の縄文時代前期ま  
でのコーナーだよ！



よし い かいづかしゅつ と ぎょうようこつかく き  
吉井貝塚出土の漁撈用骨角器

- 縄文人は、海に囲まれた三浦半島では魚介類に恵まれた暮らしをしており、当時のゴミ捨て場であった貝塚からは、貝ばかりでなく石器や土器、魚を捕るための釣針などの骨角器も数多く出土しています。
- 三浦半島で特徴的な遺跡である、内原遺跡（長井3丁目）・吉井貝塚（吉井）・鵜が島台遺跡（三浦市三崎町）などからの出土遺物を展示しています。
- 吉井貝塚からは、東海地方でつくられた土器が多数出土していることから、約7千年以上前から東海地方と交流があったことがわかります。
- 地球の温暖化に伴い前期に海水面が上昇すると、三浦半島は生活環境が悪化したらしく、中期以降人口の減少が進行していきます。このような現象は、千葉県・埼玉県など南関東の他地域には見られません。



⑧採集の生活 —採集生活の限界— (5,000年前～2,000年前)



やく せんねんまえ じょうもん じ だいちゅう き  
約5千年前の縄文時代中期  
から、やく せんねんまえ じょうもん じ だい  
こう き  
後期までのコーナーだよ！



- え ど ざか かいづか く び り ちょう め ちゅうしん ど き せつ き ぎょうろうようぐ そうしん ぐ るい てん じ  
江戸坂貝塚（久比里2丁目）を中心に土器・石器や漁撈用具、装身具類などを展示しています。
- あみ おも ど き へんすい おお しゅつ ど きょうどう さ ぎょう ひつよう ぎょうもう  
網の重りである土器片錘が多く出土しています。これは、共同作業が必要となる漁網による漁法が盛んにおこなわれていたことを示します。
- じょうもん じ だいさい こ ばん き い せき じ き み うらはんとう ひと す  
縄文時代最後となる晩期の遺跡はほとんどなく、この時期は三浦半島に人が住んでいなかった可能性もあります。また、弥生時代前期の遺跡も確認されていません。

⑨海的生活（ジオラマ）



よみがえる7千5  
ひゃくねんまえ  
百年前のくらし  
のコーナーだよ！



- じょうもん じ だいそう き よし い かいづか しゅつ ど こっかく き ほね つの つく  
縄文時代早期の吉井貝塚から出土した骨角器（シカやイノシシなどの骨や角などで作った釣針などの道具）や自然遺物などから、当時の磯の生物や狩猟・採集方法を復元したものです。
- とう じ ひとひと い ふく  
当時の人々がどのような衣服であったかは、わかっていません。

⑩<sup>のうこう</sup>農耕のはじまり —<sup>やよいしだい</sup>弥生時代のころ—



<sup>いなさく</sup>稲作がはじまった<sup>やよいしだい</sup>弥生時代から  
<sup>こふんしだいぜんき</sup>古墳時代前期にかけてのコーナ  
ーだよ！



<sup>やよいしだいちゅうき</sup> 弥生時代中期の壺 <sup>つぼ</sup>

- <sup>やよいしだいちゅうき</sup> 弥生時代中期（約2千年前）になると、<sup>やく</sup>三浦半島でも<sup>いなさく</sup>稲作が開始されました。
- 後期から<sup>こふんしだいぜんき</sup>古墳時代前期にかけて<sup>えんがんぶ</sup>沿岸部には大規模な<sup>だいきほ</sup>集落が突然、<sup>しゅうげん</sup>出現します。
- <sup>のうこういがい</sup>農耕以外にも、<sup>かいしよくどうけつ</sup>海蝕洞穴（<sup>なみ</sup>波の<sup>しんしょく</sup>浸食によって自然にできた<sup>しぜん</sup>洞穴）を利用した<sup>どうけつ</sup>漁撈活動もおこなわれていました。
- <sup>かもいうえ</sup>鴨居上の<sup>だいいせき</sup>台遺跡（<sup>かちい</sup>鴨居2丁目）や<sup>ちようめ</sup>内原遺跡（<sup>うちはらいせき</sup>長井3丁目）など大規模<sup>だいきほ</sup>集落から<sup>しゅうど</sup>出土した土器や、<sup>かいしよくどうけつ</sup>海蝕洞穴などから<sup>しゅうど</sup>出土した<sup>こっかくせいぎょうろうようぐ</sup>骨角製漁撈用具などを<sup>てんじ</sup>展示しています。
- <sup>えんがんぶ</sup>沿岸部の大規模集落からは伊勢湾岸などの<sup>いせわんがん</sup>東海系土器が多量に<sup>たうけつ</sup>出土していることから、<sup>やよいしだい</sup>弥生時代から<sup>こふんしだい</sup>古墳時代にかけて<sup>とうかいちほう</sup>東海地方から<sup>おお</sup>多くの人々が<sup>ひとひと</sup>舟に<sup>ふね</sup>乗ってやってきた可能性<sup>のうせい</sup>が高いようです。
- <sup>うちはらいせき</sup>内原遺跡などから<sup>しゅうど</sup>出土している大形の<sup>おおがた</sup>台付甕は、<sup>だいつきがめ</sup>カツオを<sup>に</sup>煮たのではないかといわれています。

⑪ 豪族の誕生 ー古墳時代のころー

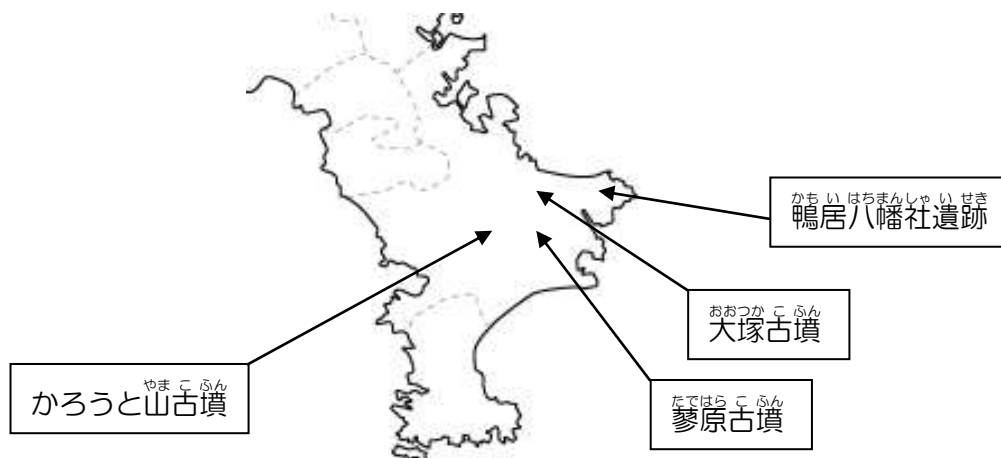


かい ろ ちゅうけい ち  
海路の中継地であっ  
た古墳時代のコーナー  
だよ！



かろうと山古墳 出土の金銅製品

- 大塚古墳（池田町 2～4 丁目）から出土した鉄製武器、蓼原古墳（神明町）の埴輪、横穴墓出土の須恵器などを展示しています。
- 群馬県・埼玉県など内陸部の土器や埴輪が出土するだけでなく、静岡県湖西市にある湖西窯でつくられた須恵器なども多量に出土しています。
- 三浦半島では全国各地の製品が海浜部の遺跡から多く出土していることから、各地からやってくる舟の中継地となっていたことが推定されます。
- お墓についてみると古墳は少なく、崖に横穴を掘って遺体を埋葬する横穴墓が盛んにつくられているのが三浦半島の特徴です。
- かろうと山古墳（光の丘）出土の金銅装鑿状鉄製品は、鑿状としていますが先端に刃はありません。全国で 14 例しか確認されておらず、用途も不明ですが、権力を示す道具ではないかともいわれています。
- 鴨居八幡社遺跡（鴨居 3 丁目）からは古墳時代の和歌山県などでみられるカツオ用と考えられている骨角製組合せ式釣針が出土しています。約 1600 年前から和歌山県（紀州）の漁師が黒潮に乗ってカツオを追いかけて三浦半島にやってきた可能性が高いようです。



⑫ 弾琴男子椅座像埴輪

- 椅子にすわり、琴を弾く高い身分の男子です。
- 右手には弦をはじくヘラ 状の道具を持っています。
- 「日本書紀」などには、神のお告げを聞くとときに使われたとされています。
- 群馬県で作られ、はるか横須賀まで舟で運ばれたと考えられています。

この埴輪は、〇〇小学校の  
下で見つかったよ！



コラム③

「朝鮮半島から伝えられた？古墳時代の琴」

現代人がイメージするお琴といえば、正倉院にもある新羅琴（起源は伽耶琴）を元の形とする13弦の箏でしょう。しかし現代には、6弦の和琴も伝えられています。最も似ているのが、6本の弦をスルテと呼ばれる短い竹の棒で叩いたり弾いたりする高句麗発祥のコムンゴです。蓼原古墳の弾琴男子も右手にヘラ状の道具を持っていることから、高句麗伝来のコムンゴを弾いているのかもしれません。



弾琴男子椅座像埴輪



⑬さわってみよう：古墳時代の土器



ちやいろ とき (は) じき  
茶色の土器 (土師器)  
はいいろ とき (す) えき  
と灰色の土器 (須恵器)  
をさわれるよ！



⑮三浦一族と三浦半島 鎌倉～室町・戦国時代のころ (藤井学芸員)



ちゅう せ み うらいちぞく  
中 世三浦一族  
せいすい  
盛衰のコーナー  
だよ！



おお や ベ ま が い ぶ つ し ち ぶ つ  
大矢部磨崖仏 (七仏)

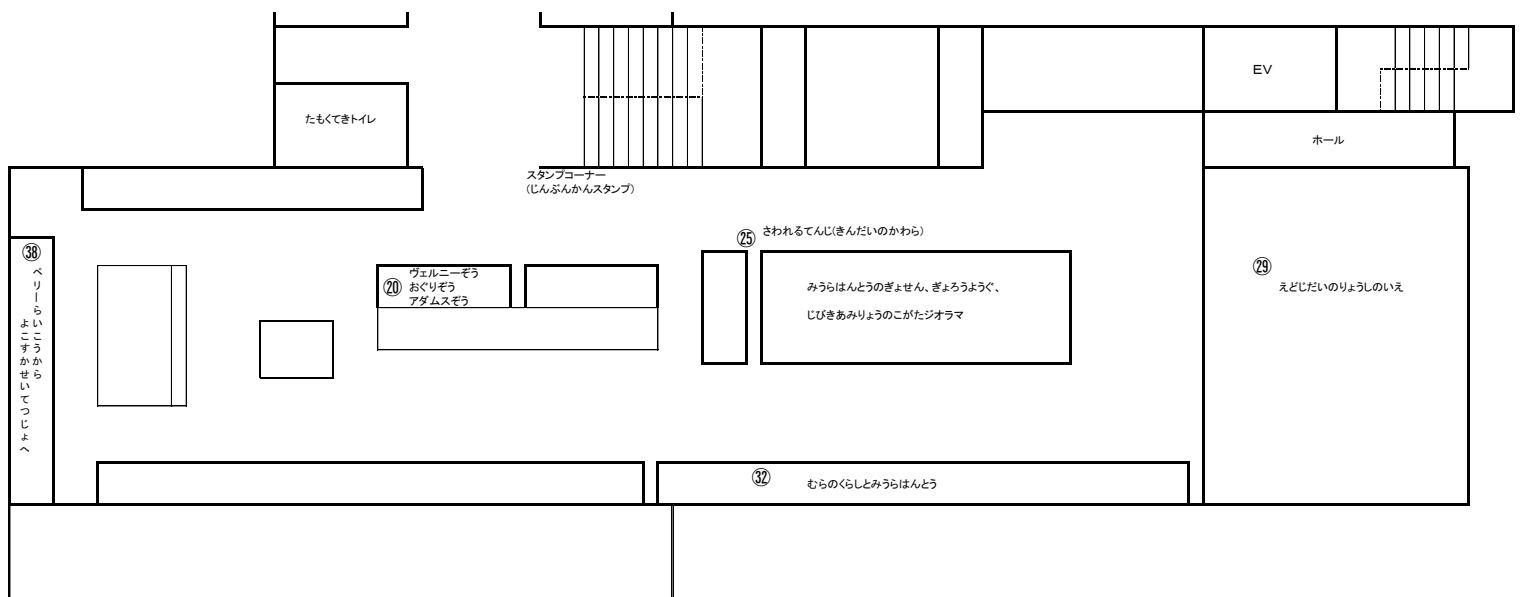
- ぬま ま す し し じょう が しま み うらし さかぐち きぬがさちよう しゅつ と こつぞう き か そう ほね  
沼間 (逗子市)・城ヶ島 (三浦市)・坂口やぐら (衣笠 町) 出土の骨蔵器 (火葬した骨を  
い っぽ かめ いわとまんがんじ かわら ふ だんづか す や さら てんじ  
入れる壺や甕)、岩戸満願寺の 瓦、普段使いの素焼きの皿である「かわらけ」などを展示  
しています。
- いわとまんがんじ みなもとのよりとも かまくら た ようふくじ おな な ご や やごとうらよう や  
岩戸満願寺からは、源 頼 朝 が鎌倉に建てた永福寺と同じ名古屋の八事裏窯で焼かれた  
かわら しゅつ と けんない じ しゅつ と まんがんじ た みうらいち  
瓦 が出土しています。県内ではこの2寺からだけの出土であり、満願寺を建てた三浦一  
ぞく よりとも とくべつ ふか かんけい  
族が頼朝と特別に深い関係であったことがわかります。
- おお や ベ ま が い ぶ つ がけ ほ ぶつぞう ちょうこく ふ だん ぶつきょうしんこう あらわ  
大矢部磨崖仏 (崖に彫られた仏像などの 彫 刻で、普段の仏 教 信仰を表 します) のレブ  
り力を展示しています。
- せんごく じだい かつやく み うらよしあつ ほうみょう どうすん むす こよしおき さいご た あら い じょう  
戦国時代に活躍した三浦義同 (法 名 は道寸) と息子義意が最後に立てこもった新井 城  
み うらし み さきちようこ あじろ ぜんたい しめ も けい み なみしす あぶらつぽ いり え はんとう  
(三浦市三崎 町 小網代) の全体を示す模型を見ると、波静かな 油 壺の入江をかかえた半島  
に突き出た城であったことがわかります。

⑩衣笠 城 址のジオラマ



- 武士団の日常の生活跡は、山城の麓にありました。
- 衣笠城の地模型をみると、大きな堀や高い石垣などはみられないことがわかります。鎌倉時代以前の城は山の自然地形を巧みに利用した山城だったのです。

2-3 人文館 2階展示室



②⑩ようこそ近世・近代の世界へ ―海を切り拓いた人たち― (藤井学芸員)

・17世紀から20世紀に続く地元の人の暮らしと、今も深い関係にある「海」と「船」に関係する展示物を集めました。

・ウィリアム・アダムス (三浦按針)、小栗上野介忠順、フランソワ レオンス ヴェルニーの胸像を並べて展示しています。

・「亜米利加船浦賀渡来図」は、弘化3年(1846年)、日本を開国させるために浦賀(現横須賀市浦賀)を訪れたアメリカ海軍の東インド艦隊司令官ビッドル提督の船とそれを囲む警備の船を描いています。この時、徳川幕府はアメリカによる開国要求を拒否しますが、ビッドル来航の7年後、日本はペリー艦隊の来航を受けることとなります。



ウィリアム・アダムス (三浦按針)、小栗上野介忠順、フランソワ レオンス ヴェルニーの3人について、くわしく調べてみよう！



②⑪さわれる展示：近代の瓦 (菊地学芸員)



横須賀製鉄所副首長 ティボディエ官舎

横浜で製造され、横須賀の洋館でも多く使われていたジェラルド瓦をさわれるよ！



② 古民家コーナー（瀬川学芸員）

- この家は江戸時代の終わりに現在の横須賀市佐島に建てられた漁師の家を移築したものです。



はた お き  
機織り機



いとぐるま  
糸車

これらの道具はそれぞれ何のために  
どのように使ったのだろうか？





2. 人文博物館  
2-3 人文館 2階展示室

③<sup>のうぐ</sup>農具コーナー（<sup>せ かわがくげいいん</sup>瀬川学芸員）

- ・<sup>み うらはんとう た</sup>三浦半島は<sup>すく</sup>田んぼが少なく、<sup>おも はたけ むぎ</sup>主に畑で麦をつくっていました。



<sup>せん ば</sup>千歯こき



トウミ



タタラ

<sup>せん ば</sup>千歯こき、トウミ、タタラは  
それぞれ<sup>なん</sup>何のためにどのように  
<sup>つか</sup>使ったのだろう？





- ・アーボ・ヘーボとは、正月にその年の豊作を祈る行事、またはその作り物です。東日本に多く見られます。
- ・アーボはアワの穂、ヘーボはヒエの穂の意味です。
- ・アーボ・ヘーボは、ヌルデ（カツノキ）やニワトコの幹をアワやヒエの穂に見立てて用いていました。



アーボ・ヘーボ

#### コラム④

「西か？ 東か？ 三浦半島」

三浦半島は日本の東側に位置します。ショイタは荷物を背負うときに使う道具ですが、その呼び名は中部日本を中心に西日本にも広がる呼び名です。しかし、形態に注目すると三浦半島のものには爪（板の下部にあり荷物を固定する部分）がありません。これは東日本の特徴です。つまり、呼称は西、形態は東となり、両方の特徴を持っています。おそらく、ショイタという呼び名は黒潮によって西からもたらされたのでしょう。ショイタに限らず、黒潮によって同じ文化がもたらされた地域を黒潮文化圏と呼びます。



③⑧ <sup>らいこう</sup> <sup>はじ</sup> <sup>きんだいがいこう</sup> <sup>ふじ い がくげいいん</sup>  
ペリー来航から始まった近代外交（藤井学芸員）

よこ す か せいてつじょ <sup>はいけい</sup>  
横須賀製鉄所ができた背景に  
ついて、<sup>らいこう</sup> <sup>れきし</sup>  
ペリー来航の歴史から  
<sup>じゅん</sup> <sup>しょうかい</sup>  
順に紹介しているよ！



- 幕末、幕府は<sup>み</sup> <sup>うらはんとう</sup> 三浦半島や<sup>ほうそうはんとう</sup> 房総半島に<sup>しょだいみょう</sup> <sup>はいち</sup> 諸大名を配置し、  
<sup>かくち</sup> <sup>ほうだいじょう</sup> <sup>きず</sup> <sup>え</sup> <sup>と</sup> <sup>ないかい</sup> <sup>ぼうび</sup> <sup>かた</sup>  
各地に砲台場を築くなどして、江戸内海の防備を固  
めました。

- 「<sup>かも</sup> <sup>い</sup> <sup>じん</sup> <sup>や</sup> <sup>す</sup> 鴨居陣屋の図」や「<sup>かわらばん</sup> <sup>そうしゅううら</sup> <sup>が</sup> <sup>うみ</sup> <sup>べ</sup> <sup>す</sup> 瓦版 相州 浦賀海辺の図」、  
「イギリス船の図」は<sup>らいこう</sup> <sup>い</sup> <sup>ぜん</sup> <sup>じ</sup> <sup>も</sup> <sup>と</sup> <sup>けい</sup> <sup>び</sup> ペリー来航以前の地元警備の  
<sup>よう</sup> <sup>す</sup> <sup>しめ</sup>  
様子を示しています。

- 嘉永6年（1853年）、<sup>く</sup> <sup>り</sup> <sup>はまおき</sup> 久里浜沖に<sup>だいとうりょう</sup> アメリカ大統領  
<sup>めいれい</sup> <sup>う</sup> <sup>ていとく</sup> <sup>かんたい</sup> <sup>あらわ</sup>  
の命令を受けたM.C.ペリー提督の艦隊が現れました。



<sup>りつぞう</sup>  
ペリー立像

- 従軍画家<sup>じゅうぐん</sup> <sup>が</sup> <sup>か</sup> ハイネの「<sup>く</sup> <sup>り</sup> <sup>はまじょうりく</sup> <sup>す</sup> 久里浜上陸図」、<sup>よこはま</sup> 「横  
<sup>じょうりく</sup> <sup>す</sup> <sup>じょうりく</sup> <sup>よう</sup> <sup>す</sup> <sup>えが</sup>  
上陸図」には、ペリー上陸の様子が描かれ  
ています。

- 久里浜で会見の時、西洋風の椅子がなかった  
ため、<sup>か</sup> <sup>てら</sup> <sup>しやう</sup>  
代わりにお寺で使用していた「キョク  
ロク」というものを使用しました。

- 日本最大の淡水魚「イトウ」には、<sup>がくめい</sup> 学名に  
<sup>な</sup> <sup>まえ</sup> <sup>つ</sup>  
ペリーの名前が付けられています。

- サンマやアナゴもペリー艦隊により<sup>かんたい</sup> <sup>しんしゆ</sup> <sup>はっけん</sup> <sup>がくめい</sup> <sup>つ</sup> <sup>さかな</sup>  
新種として発見され、学名が付けられた魚です。

- 日本や渡航途中で調べた<sup>に</sup> <sup>ほん</sup> <sup>えん</sup> <sup>せい</sup> <sup>き</sup> <sup>えが</sup>  
動植物の情報が、「ペリー日本遠征記」にはたくさん描かれて  
います。



<sup>く</sup> <sup>り</sup> <sup>はまじょうりく</sup> <sup>す</sup> <sup>が</sup>  
ペリー久里浜上陸図（ハイネ画）

### 3. 学芸員紹介



#### がくげいいんしょうかい 学芸員紹介

学芸員とは、博物館資料の収集・保管・展示・調査・研究をおこなう「博物館法」に定められた専門職員です。

海洋生物学



はぎわら  
萩原  
海洋生物、鳥、けもの  
などの質問にこたえます。

地球科学



しばた  
柴田  
地層や化石、岩石、  
活断層はおまかせ！

昆虫学



うちふね  
内船  
昆虫、害虫の区別なく  
ムシなら何でも★

植物学



やまもと  
山本  
花が咲かない植物も  
きのこも菌類も担当！

建築史学



きくち  
菊地  
幕末以降の歴史的  
建造物を調べています。

民俗学



さがわ  
瀬川  
祭りや年中行事を  
調べています！

文献史学



ふじい  
藤井  
江戸時代の古文書から村の歴史  
や家系について調べています。

当館には、自然科学と人文科学のいろいろな分野を担当している学芸員がいます。  
それぞれの分野の資料の収集・保管をしたり、調査・研究をしたり、イベントや行事を企画・実施したり、  
展示をつくったり、学校や講演会でお話をしたり…みなさまの疑問・質問にもお答えします！

※横須賀市自然・人文博物館では、次のような学校支援活動を行っています。

- ・授業支援（出前授業も可能です。）
- ・学習・研究相談
- ・資料の貸出
- ・小・中学生向け展示教材キット「よこすかの自然」の貸出

詳しくは、ホームページ（<https://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp>）をご覧ください。

※内容によって、それぞれ次の学芸員へご相談ください。

○動物⇒萩原

○歴史的建造物、横須賀製鉄所⇒菊地

○地層、化石、岩石、活断層⇒柴田

○むかしの道具とくらし⇒瀬川

○昆虫⇒内船

○近世・近代、ペリー⇒藤井

○植物⇒山本

※お申込み・お問い合わせは横須賀市自然・人文博物館まで

〒238-0016

横須賀市深田台95

電話:046-824-3688

FAX:046-824-3658



さらに、博物館では、年間を通して、さまざまな行事を開催しています！  
令和元年度に開催した行事をいくつか、ご紹介します。

### ○博物館教室「そだててしらべる！カブトムシ」



身近な昆虫であるカブトムシを教材に、  
飼育体験を通じて昆虫の形や生態について  
学ぶ行事です。

### ○夏休み企画「古代ネックレスをつくろう」



やわらかい滑石を使い、古代の勾玉など  
自分の好きな形に削ってからみがき、  
ビーズとともに皮ひもに通してネックレス  
をつくる行事です。

### ○夏休み企画「箱めがねで磯の生き物を観察しよう」



かんたんな水中観察の道具「箱めがね」  
を使って、磯の生き物たちの水の中の  
生態を観察する行事です。

### ○博物館特別公開「ナイトミュージアム」



ふだんは見られない夜の博物館内を、  
夜間ならではの演出と学芸員の案内  
の中、見学する行事です。

よこす か し し ぜん じんぶんはくぶつかん  
横須賀市自然・人文博物館

はくぶつかん  
博物館わくわくたんけんブック

じ どうせい と よう  
＝児童生徒用＝

れい わ ねん ねん がつ はつ こう  
令和2年（2020年）3月 発行

へんしゅう はっこう よこす か し し ぜん じんぶんはくぶつかん  
編集・発行 横須賀市自然・人文博物館

〒 238-0016 か な がわけんよこす か し ふか だ だい  
神奈川県横須賀市深田台95

でん わ  
電話 046-824-3688 Fax 046-824-3658

E-mail: m-bes@city.yokosuka.kanagawa.jp

<https://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp>